

## 平成26年度第1回水道審議会会議録

日 時	平成26年月11日13日(木) 午後2時から3時15分
場 所	秦野市水道局庁舎2階会議室
出席委員 〔敬称略〕 ※◎会長、○副会長 ※正副会長以下 区分別に五十音順	◎松下 雅雄、○柳川 清紀、荒川 裕美子、丹羽 恵理子、松原 沙織 宮田 義範、石川 道隆、伊藤 章、今 昭夫、高橋宣明、長澤 健 中山 知江、古谷 茂男 計13名
欠席委員 〔敬称略〕	齊藤 政和、内藤 房薫 計2名
委員以外 の出席者	市 長 古谷 義幸 水道局長 山口 誠一 水道業務課長 遠藤 秀男 水道施設課長 芳野 高志 水道業務課課長補佐(庶務担当) 和田 安弘 水道施設課課長補佐(給水維持担当) 小山田 智基 水道業務課課長補佐(経理担当) 原 正人 水道施設課課長補佐(浄水担当) 小宮 政美 水道業務課課長補佐(料金担当) 田中 和也 計画担当技幹 西沢 光吉 水道業務課庶務班主査 三河 秋実 水道業務課庶務班主事 西澤 冠
会議次第	1 委嘱状の交付(机上交付) 2 市長あいさつ 3 委員紹介・事務局職員紹介 4 開会 5 正・副会長選出 6 正・副会長あいさつ 7 議事 (1) 平成25年度秦野市水道事業会計決算について (2) その他 8 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度第1回秦野市水道審議会次第</li> <li>・秦野市水道審議会委員名簿</li> <li>・資料1 平成25年度秦野市水道事業会計決算について</li> <li>・資料2 平成25年度未収金調べ</li> <li>・資料3 経営分析表</li> <li>・資料4-1 有収水量実績・推移表 (過去6年間の実績と26年度までの推計)</li> <li>・資料4-2 給水収益実績・推計表 (過去6年間の実績と26年度までの有収水量推計)</li> <li>・資料5 平成26～27年度水道審議会開催日程表(予定)</li> </ul>

- ・資料6 水循環基本法案の概要(衆議院・法制局作成資料)
- 《参考》
- ・はだの水道ビジョン
  - ・平成25年度水道事業統計要覧
  - ・秦野水道百年史(新委員のみ配付)
  - ・秦野市水道審議会規則

事務局 課長補佐(庶務担当)	<p>只今から、平成26年度第1回秦野市水道審議会を開催します。机上には市長からの委嘱状を置かせていただきました。ご確認くださいようお願いします。</p> <p>会議に先立ち、資料の確認をします。</p> <p>—資料の確認—</p>
事務局 課長補佐(庶務担当) 市長	<p>市長からごあいさつ申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。委員就任について、ご快諾いただきましたことに心からお礼を申し上げますとともに、大所・高所からご意見、ご指導いただければ幸いです。</p> <p>さて、本市の水道事業ですが、景気回復の実感は遠く、長引く景気の低迷は企業活動に大きな影響を与え、水需要も大幅に落ち込んでいます。</p> <p>皆様にご検討いただき、平成23年4月に16年ぶりの料金改定をしたにもかかわらず、水道事業は今、収益の中心である料金収入が大幅に減る非常に厳しい経営を強いられています。</p> <p>東日本大震災後、放射性物質への懸念が高まり、ペットボトルの需要・浸透なども加速し、節水意識と相まって家庭での水需要も落ち込んでいます。</p> <p>今年の水道審議会は、本市の水道事業の現状と将来を見据え、料金改定も視野に入れながら健全経営のあり方など様々な課題についてご意見を伺い、検討してまいりたいと考えています。</p> <p>どうぞよろしくお願いします。</p>
事務局 課長補佐(庶務担当)	<p>次に、秦野市水道審議会委員名簿の順に、荒川委員から自己紹介をお願いします。</p> <p>—各委員自己紹介—</p> <p>—市長、公務の都合により退席—</p> <p>—水道局長以下、職員自己紹介—</p>
事務局 課長補佐(庶務担当)	<p>秦野市水道審議会規則第3条に基づき、「15人の委員により組織」していますが、本日、15名のうち13名の出席がありましたので、秦野市水道審議会規則第6条第2項の規定により、審議会が成立していることをご報告します。</p> <p>それでは、改めて平成26年度第1回秦野市水道審議会を開会します。</p>
全委員	<p>まず、会長及び副会長の選出ですが、事務局で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p>

<p>事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>会長及び副会長の選任については、秦野市水道審議会規則第5条第1項の規定により、委員の互選により定めることとなっています。いかがでしょうか。</p>
<p>古谷委員 事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>事務局に一任します。 それでは、指名推選としたいと思います。 今年度は、水道料金のあり方について、前回の答申も踏まえた検討をいただくこととなります。委員として豊富な経験に加え、前任期で会長をお務めいただき、審議経過を熟知されている松下委員を会長に、飲食店組合で副会長をお務めの柳川委員を副会長に推薦したいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>全委員 事務局 課長補佐(庶務担当)</p>	<p>異議なし 会長は、松下委員、副会長は、柳川委員にお願いします。 (両委員は、それぞれ会長席、副会長席へ移動) —会長、副会長着座— —会長、副会長あいさつ— 会長に進行をお願いします。</p>
<p>事務局 課長補佐(庶務担当) 松下会長</p>	<p>次第に従い「議題1 平成26年度秦野市水道事業会計決算について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。 —水道業務課長が 資料1、2、3、4-1、4-2により説明—</p>
<p>松下会長 水道局長</p>	<p>事務局からの説明について、意見、質問をお願いします。 包括委託について補足します。 検針から滞納整理まで民間業者に委託していますが、毎月定期的にもどうしても水道料金をお支払いただけない方について、給水停止を行っています。この繰り返しによって未収金はかなり圧縮することができました。</p>
<p>松下会長 水道局長</p>	<p>水は、生活に欠かせないものですが、給水停止することに何か問題はないですか。 給水停止は、あくまでも連絡がつかない利用者にコミュニケーションをとることが目的で行う手段です。何度通知を出しても、何回訪問してもお会いできない方に面会して、分割納付の約束などをいただくことが前提です。また、福祉部門と連携し、給水停止するに当たり、こまめに情報交換しながら行っています。</p>
<p>古谷委員 水道局長</p>	<p>法的には問題ないということですね。 はい。電気やガスは、料金未納に対して機械的に止めているよ</p>

松下会長  
事務局  
課長補佐(料金担当)

うですが、水道は、緻密に行っています。  
料金を滞納する一番の原因は何ですか。  
生活が厳しいということが大半の理由だと考えられます。  
滞納者は、30代、40代の単身世帯が大部分を占めていますが、他に、大根地区の大学生なども含まれます。  
また、これまでは、支払わなくても止められなかったから払っていなかったという方もいました。

古谷委員

当初の見込みより、水の需要、給水収益の落ち込みが厳しいようですが、景気の影響ですか。

水道局長

業務用は、企業中心なので景気の影響が大きく、また大口需要者の撤退という事情もあり、大幅に減少しました。  
家事用は、主に節水意識の高まりによるものです。

松下会長

最近では、家をリフォームや新築するとトイレや洗濯機などの家電製品が節水型機器に切り替わり、水道使用量が従来の3分の2くらいになってしまうということもあります。  
これからは、節水意識のほか、人口の減少も水使用量の減に繋がってくると思います。

水道局長

水資源という環境保全の観点からは、節水は大切なことです。  
水道事業の経営という立場では、無駄にされては困りますが、水道を使っていただきたいという思いがあります。

古谷委員

企業の需要も家庭の所得もなかなか伸びない中で、節水意識が高まっているのだと思います。

松下会長

そのほか、何かありますか。

—特になし—

松下会長

では、「議題2 その他」に移ります。事務局から説明をお願いします。

—水道業務課課長補佐(庶務担当)が  
資料5により、今後の水道審議会日程(予定)、  
資料6により水循環基本法案の概要を説明—

松下会長

事務局からの説明について、意見、質問をお願いします。

—特になし—

松下会長

ないようですので、最後に事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。

事務局

2点連絡があります。

課長補佐(庶務担当)

次回の審議会の日程ですが、年明けて1月中旬以降での開催を予定しています。詳しい日程等については、調整させていただきます。

2点目ですが、事前に配付した委任状についてです。

会計事務の上で、旅費の請求等に関する権限を水道業務課長に委任していただくものです。お帰りの際、回収させていただきますので、机上にお置きください。

松下会長

ほかに何かございますか。

—特になし—

松下会長

以上をもちまして、平成26年度第1回秦野市水道審議会を終了します。

〔午後3時15分終了〕

署名 \_\_\_\_\_ 印

署名 \_\_\_\_\_ 印